

(宛先) 大分市長

施設等利用費請求書（預かり保育用）

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の施設等利用費
【請求対象期間 令和 7 年 4 月 ～ 6 月】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記の通り請求しますので、指定する振込先口座に振り込んで下さい。
なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

1. 申請者と認定子どもが、大分市内に居住していることを大分市が住民基本台帳で確認すること。
2. 実際に利用していることを大分市が対象施設に確認すること。
3. 利用料の支払い状況を大分市が対象施設に確認すること。
4. 課税状況を大分市が確認すること。

(注意) 修正テープ、修正液は使用しないでください

記載内容を訂正する際は、再度作成していただくか、二重線で訂正してください。
(訂正箇所への押印は不要です)

※修正テープ、フリクションなどの消えるボールペンは使用しないでください。

1. 施設等利用給付認定保護者(請求者)

フリガナ	〇〇 〇〇	認定子どもとの続柄	父	生年月日	平成〇〇 年 〇 月 〇 日
氏 名	〇〇 〇〇	母・その他		現住所	大分市〇〇
				電話:	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇(母)

印字された住所が転居前の住所の場合は転居後の住所に訂正

認定保護者以外の方の電話番号を記入した場合は、認定子どもとの続柄を()に記入

2. 認定子ども

フリガナ	〇〇 〇〇	法第30条の4の認定種別	第 2 号
氏 名	〇〇 〇〇	認定番号	〇〇〇〇
		生年月日	令和〇〇 年 〇 月 〇 日
請求期間中に転入または転出した場合は☑をして、その年月日を記入		☐ 転入 ☐ 転出	令和 年 月 日

請求期間中に市外から転入または市外へ転出した場合は☑し、転入・転出日を記入

3. 在籍する幼稚園・認定こども園・特別支援学校

施設名①	〇〇幼稚園	施設名② (①以外の施設を利用した場合)	
請求期間中に途中入園、退園した場合は☑をして、その年月日を記入		☐ 入園 ☐ 退園	令和 年 月 日

請求期間中に途中入園、退園した場合は☑し、その年月日を記載

4. 施設等利用費の振込先

- ☒ 前回の振込先(口座情報の記入は不要ですが、口座名義が認定保護者と異なる場合は委任状が必要です。)
- ☐ 公金受取口座を利用する。(口座情報の記入は不要です。認定保護者名義の口座に限ります。)
- (公金受取口座・・マイナンバーとともに国に給付金等の支給を受けるために登録した口座です)

・同じ「認定こども」について、施設等利用給付を既に受けたことがある方は、「前回の振込先」にチェックを入れて選択できます。

・認定保護者が公金受取口座をマイナポータルで登録されている場合、チェックを入れることで、口座情報の記入は不要となります。

今回初めて請求する方、振込先口座を変更したい方は下記に記載してください。

金融機関名	預金種目	☑ 普通 ☐ 当座
〇〇 銀行・金庫 △△ 本店	口座番号	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇〇 農協・組合 △△ 支店	口座名義(カタカナ)(※1)	〇〇 〇〇
	出張所	

※1 申請者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、本市指定の委任状を提出してください。

請求者と異なる名義の振込先を指定する場合は委任状が必要です。
(施設から受け取るか、市ホームページからダウンロードできます)

ゆうちょ銀行の場合(※店名と口座番号の記載誤りが多くなっています。ご注意ください)

金融機関名	預金種目	☑ 普通 ☐ 当座
ゆうちょ 銀行・金庫 七二八 本店	口座番号	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
ゆうちょ 農協・組合 七二八 支店	口座名義(カタカナ)(※1)	〇〇 〇〇
	出張所	

通帳・キャッシュカードにある5桁の記号の2桁目、3桁目の数字に「八」を付けたものが店名です。

通帳・キャッシュカードにある(桁数にかかわらず)番号の最後の「1」をとったものが口座番号です。

請求書や委任状の様式は大分市ホームページにも掲載しています
(ホーム>子育て・教育>保育施設・幼稚園・一時保育等>幼稚園・認定こども園等の預かり保育の利用費の請求について)

※右記の二次元バーコードからも閲覧できます。



【請求書の記載方法や保育の無償化についての問い合わせ先】
大分市子ども入園課 管理担当班 電話：097-537-5789

裏面にも記入例がありますのでご確認ください。

5. 在籍園の預かり保育事業における施設等利用費の請求の内訳

利用年月	在籍園の預かり保育事業				請求額 (cが月額上限額(※2)の 低い方を記入)
	施設に支払った金額(a)	利用 日数	対象額(b) (450円×利用日数)	aとbの金額の 低い方を記入 (c)	
令和7年 4 月	① 4,000 円	② 10 日	4,500 円	4,000 円	4,000 円
令和7年 5 月	6,000 円	15 日	6,750 円	6,000 円	6,000 円
令和7年 6 月	400 円	1 日	450 円	400 円	400 円

認定の種別は
「2. 認定こども」欄に記載

(※2)認定こども園、幼稚園等の預かり
保育事業利用にかかる月額上限額

3～5歳児クラス(新2号認定)
11,300円

満3歳児(新3号認定)
16,300円

施設から発行された領収証兼提供証明書をご確認の上、「特定子ども・子育て支援利用料の領収金額」(①)と利用日数(②)を記入してください。(下図参照)

(c) 欄に施設に支払った金額(a)と対象額(b)を比べて低い額を記入

例) 令和7年4月施設に支払った金額 (a) 4,000円
対象額(b) 10日×450円=4,500円

⇒ (a) < (b) なので(c) 欄には(a) の4,000円を記入

最後に(c) 欄の数字と右枠に記載の上限額を比較して、低い額を請求額欄に記入してください。

大分市使用欄 (ここより下には記入しないでください)

この箇所は市で記入します。
もし、支給額欄に数字を記入した場合は、そのままの状態
で提出してください。(訂正印は不要です)

支給額

記載不要

円

※「5. 請求の内訳」欄に記載する金額や日数の確認方法

施設から発行された「特定子ども・子育て支援の提供に係る領収証兼特定子ども・子育て支援提供証明書」をご確認ください

特定子ども・子育て支援の提供に係る領収証
兼 特定子ども・子育て支援提供証明書
(預かり保育事業の利用料)

納入者 ○○ ○○ 様

ただし、特定子ども・子育て支援利用料(令和○年○月分)として

主たる事務所の所在地 大分市○○

設置者名称 株式会社○○

代表者職氏名 代表取締役 ○○ ○○

施設・事業所の名称 ○○こども園

特定子ども・子育て支援
利用料の領収金額 ① 4,000 円 (下記①の金額)

【特定子ども・子育て支援利用料の内訳】
利用料(預かり保育料)として

4,000 円 ①

【特定子ども・子育て支援利用料以外の領収金額】

日用品、文房具、行事参加費、食材料費、通園送迎費等として 500 円

下記のとおり認定子どもに対し、特定子ども・子育て支援を提供したことを証明します。

認定 保護者	フリガナ	○○ ○○	認定子ども との関係
	氏 名	○○ ○○	父

認定 子ども	フリガナ	○○ ○○	法第30条の4の認定種別
	氏 名	○○ ○○	☒ 第2号 ☐ 第3号

特定子ども・子育て 支援の内容	提供した日	提供時間帯	費用
☒ 預かり保育事業	1 日 ~ 31 日 ② 10 日	14:00 ~ 18:00	4,000 円

「領収証」と「提供証明書」の2枚が発行
されている場合は

- ・ 領収金額は「領収証」
- ・ 利用日数は「提供証明書」
でご確認ください